じもと
HOLDINGS

2019.9
MINI DISCLOSURE

じもとホールディングスミニディスクロージャー誌

きらやか銀行　仙台銀行

ごあいさつ

平素より格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

2018年4月より開始した「顧客本位の本業支援」「統合効果発揮」の2つのキーワードと5つの骨子からなる中期経営計画は、本年度が2年目となります。

今年度はグループの経営態勢を見直し「ガバナンス態勢強化」のため、6月より監査等委員会設置会社に移行いたしました。

また、「持続可能なビジネスモデルの確立」に向けては、グループの統一方針である本業支援を核とした「中小企業成長戦略」や「非金利収入増加戦略」などの各種施策を展開しており、グループを挙げて、新サービスの展開や顧客ニーズへの対応に力を注いでおります。中でも両行が重点地区とする仙台地区の営業戦略を強化しており、じもとグループ内でのノウハウや情報の共有、審査対応のスピードアップに取り組み、仙台地区におけるじもとグループの存在感を高めてまいります。

さらに、「効率化・合理化」に向けた取り組みとして「事務集中業務の集約」や「業務フローの統一化」、「店舗網の見直し」、「両子銀行のバックオフィス統一」などを更に踏み込んで進めております。今後も経営統合効果の発揮に向け、更なる効率化・合理化に取り組んでまいります。

本誌では、2019年9月期のグループ業績と、当社グループが一丸となり取り組んでいる「本業支援」の活動についてご紹介しておりますので、是非ご高覧ください。

皆様方におかれましては、今後とも、じもとグループに更なるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社 じもとホールディングス社長
株式会社 きらやか銀行 頭取
粟野　学

株式会社 じもとホールディングス会長
株式会社 仙台銀行 頭取
鈴木　隆

じもと HOLDINGS

（2019年9月30日現在）

本社所在地	仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
電話番号	022-722-0011（代表）
設立年月日	2012年10月1日
資本金	170億円
上場取引所	東京証券取引所
ホームページ	https://www.jimoto-hd.co.jp/

きらやか銀行

本店所在地	山形市旅篭町三丁目2番3号
電話番号	023-631-0001（代表）
設立年月日	2007年5月7日
資本金	227億円
預金・譲渡性預金	12,606億円
貸出金	10,335億円
従業員数	965人
店舗数	117カ店（県内98カ店、県外18カ店、その他1カ店）（注）

（注）ブランチ・イン・ブランチ（店舗内店舗）形式での店舗統合による実質店舗数は62カ店（県内45カ店、県外16カ店、その他1カ店）。

ホームページ　https://www.kirayaka.co.jp/

仙台銀行

本店所在地	仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
電話番号	022-225-8241（代表）
設立年月日	1951年5月25日
資本金	224億85百万円
預金・譲渡性預金	10,552億円
貸出金	7,369億円
従業員数	756人
店舗数	72カ店（注）

（注）ブランチ・イン・ブランチ（店舗内店舗）形式での店舗統合による実質店舗数は54カ店《うち出張所2カ店》。

ホームページ　https://www.sendaibank.co.jp/

CONTENTS

ごあいさつ …… 巻頭

会社概要 …… 01

中期経営計画の取り組み状況 …… 02

本業支援事例
- きらやか銀行 …… 04
- 仙台銀行 …… 05

トピックス
- じもとホールディングス …… 06

業績ハイライト
- じもとホールディングス …… 07

トピックス
- きらやか銀行 …… 08
- 仙台銀行 …… 10

わたしたちのじもと紹介
- きらやか銀行 …… 12
- 仙台銀行 …… 13

業績ハイライト
- きらやか銀行 …… 14
- 仙台銀行 …… 16

株主の皆様へ …… 巻末

じもとホールディングス

中期経営計画

計画期間
2018年4月～2021年3月

中期経営計画の理念 ～我々は“なぜ”「本業支援」に取り組むのか？～

必要としている支援を受けられていない中小企業の皆さまの力となるため

地元の復興ならびに地方創生に貢献するため

じもとグループの目指す姿

- 「本業支援」でお客さまの喜びと成長を通して、地域経済の発展・地方創生に貢献していく。
- グループの統合効果を最大限に発揮し、地元の復興の一助となる。
- グループの収益確保と財務の健全性確保に努め、安定した顧客基盤、収益基盤を確立する。

Keyword（キーワード）

- 顧客本位の本業支援
- 統合効果発揮

中期経営計画の柱

2019年 施策

持続可能なビジネスモデルの確立
～「本業支援」を核とする～

- 本業支援を核とする中小企業成長戦略の展開
- 仙台地区におけるじもとグループの存在感向上
- IT・FinTechへの対応

効率化・合理化
～グループ業務運営態勢再構築～

- グループ業務運営態勢の見直し
- グループのメリットを活かした更なるコスト削減
- RPAによる業務効率化

ガバナンス態勢の強化

- 監査等委員会設置会社への移行

計数計画と経営指標

	2018/3期（始期）	2019/3期 実績	2019/9期（中間期） 実績	2020/3期 計画	2021/3期 計画
コア業務純益	44億円	41億円	**17億円**	50億円	62億円
当期（中間）純利益	34億円	18億円	**9億円**	30億円	40億円
コアOHR	85.27%	85.74%	**87.05%**	83.39%	79.95%
預金平残	23,131億円	23,063億円	**22,978億円**	23,585億円	24,020億円
貸出金平残	16,689億円	17,029億円	**17,350億円**	17,436億円	17,955億円
自己資本比率	8.70%	8.39%	**8.24%**	8.41%	8.35%
顧客向けサービス業務利益（始期比増加額）	▲28億円（－）	▲15億円（+13億円）	**▲5億円（+23億円）**	▲11億円（+17億円）	1億円（+29億円）

※顧客向けサービス利益＝貸出残高×預貸金利回り差＋役務取引等利益－営業経費

2019年の主な取り組み

本業支援のサービス強化

きらやか銀行では、従業員様向け「ふっくりパッケージ」の内容を拡充、仙台銀行では、クラウド型本業支援プラットフォーム「Sendai Big Advance」を導入し、本業支援のサービスを強化しました。

市場金融部門の証券管理事務業務を統一

じもとホールディングス内に市場金融部証券管理課を新設し、両行の共通業務をじもとホールディングスが一本化して行うことで、グループ全体での業務効率化を実現しました。

きらやか銀行の本業支援ご紹介

世代を超えて 地域と共に活きる

～“アクティブリスニング”を通じた本業支援の実施～

きらやか銀行では、「財務の本業支援」、「成長の為の本業支援」、「福利厚生の本業支援」の３つの本業支援に力を入れて取り組んでおります。

山形県白鷹町にある鈴木工務店様は、1950年の創業以来、長年にわたり当行とお取引いただいている土木建築業者です。今夏、当時専務であった現社長が先代から事業を引き継ぎました。

当行では、支店・本部が一体となり、経営者様のお話をお聴きし悩み・想いなどを共有する“アクティブリスニング”を通じて、様々な本業支援を実施しております。

鈴木工務店様▶

鈴木工務店様の想い

受け継がれてきた事業を発展させ 地元地域を活性化させたい

Point 1 財務の本業支援

工事の受注から完了、代金入金までが長期にわたる業種特性をふまえ、財務課題の解決に向けた方策を協議しました。

Point 2 成長の為の本業支援

- **受注先の紹介**
  県内企業はもとより、宮城と山形をつなぐじもとグループの強みを活かし、県内だけにとらわれない紹介を実施。10社以上と成約しました。
- **原価管理ノウハウの提供**
  当行本部との連携により原価管理手法について提案し、現場毎の原価・利益の見える化を実現しました。

Point 3 福利厚生の本業支援

同社は、若手育成・人材確保等、次の世代を見据えた会社経営を目指しており、当行で取り扱っている、従業員様の福利厚生をお手伝いする「ふっくりパッケージ」をご活用いただいております。

株式会社鈴木工務店 代表取締役社長 鈴木 洋様

私の祖父が会社を立ち上げた時代から、きらやか銀行にはお世話になっております。財務の本業支援をはじめ、受注先紹介から原価管理ノウハウの提供等、幅広く支援していただいており、今般、先代から経営を引き継ぐことができました。

会社と地元の銀行は共に寄り添いながら成長していく関係にあり、当社があるのはきらやか銀行のお陰であると思っています。今後も「本業支援」に期待しています。

担当者の声

経営者様が悩みや問題に直面された時、真っ先にご相談していただける存在でいられるよう、相応の覚悟を持って本業支援に取り組み、これからも共に歩んでまいりたいと考えております。

きらやか銀行 荒砥支店
遠藤 学 次長

業務提携先との連携で「人をつなぐ」本業支援

～外国人技能実習生の受け入れをサポート～

仙台銀行は、お取引先企業における外国人技能実習制度活用に対応するため、実習生の受け入れ機関である「流通産業協同組合」と業務提携しています。

外国人技能実習制度とは、開発途上国等の外国人を一定期間受け入れ、OJTを通じて技能移転を図る制度で、企業による国際貢献の取り組みとして、近年注目が高まっています。

宮城県登米市にて自動車部品をはじめとする工業用部品の塗装業を営んでいる株式会社松下塗装様でも、技能実習生の受け入れに関心を持っており、制度活用に向けた検討を進めることとなりました。

松下塗装様▶

松下塗装様の経営ニーズ

人口減少による将来的な人材不足や優秀な人材の確保への対策を行いたい

Point 1 ニーズをヒアリングし、セミナーを案内

同社のニーズをヒアリングした当行担当者は、ご提案の1つとして仙台銀行主催「外国人技能実習制度活用セミナー」を案内。本セミナーに参加したことがきっかけとなり、技能実習制度の活用に向けた本格的な検討を行うことになりました。

Point 2 業務提携先と連携し制度活用を支援

セミナー参加後は、流通産業協同組合と帯同訪問を行うなど、継続したニーズの聞き取りや提案を行い、本制度の理解を深めるお手伝いをさせていただきました。

流通産業協同組合の活動実績や充実した支援体制等を知った坂井社長は、実習生の受け入れを決断。現地の実習生送り出し機関を視察し、同機関の研修体制等を実際に確認のうえ、ベトナム人3名を実習生として採用しました。

実習生（作業風景）

株式会社松下塗装 代表取締役 坂井 俊文様

新聞やニュース等で〝技能実習生〟という言葉を目にする機会が多く、本制度に興味を持っていました。担当の川崎さんから流通産業協同組合とのセミナーを紹介いただいたのがきっかけで、今回、採用に至りました。実習生の受け入れにより、社員同士のコミュニケーションもさらに活発に行われるようになりました。期間を終え帰国しても、習得した技能を母国で活かしてもらえれば嬉しいです。「また松下塗装で働きたい」という気持ちになってくれれば一番ですね。

担当者の声

今回、当行からのご案内をきっかけに、技能実習生の受け入れ、社内活性化のお役にたてたことを非常に嬉しく思います。今後も、お客さまの経営課題解決に向けた本業支援を行ってまいります。

仙台銀行 築館支店
川崎 紘史 代理
※当時は佐沼支店在籍

市場金融部門の証券管理事務業務を統一

銀行法改正により、銀行持株会社の業務範囲が拡大されたことを受け、当社は、2019年10月、グループ全体のガバナンス態勢強化と業務効率化推進を目的に、両行市場金融部門の証券管理事務業務を統一し、じもとホールディングスにおいて業務を執行する体制といたしました。

今後も、当社の中期経営計画のキーワードの1つである「統合効果発揮」に向け、今般の統一をはじめとする様々な取り組みを推し進めてまいります。

市場金融部証券管理課

じもとホールディングス、監査等委員会設置会社へ移行

当社は、2019年6月より「監査役会設置会社」から「監査等委員会設置会社」へ移行いたしました。

当社はこれまで、取締役会の諮問機関として「指名・報酬協議会」を設置するなど、コーポレートガバナンス体制の強化を図ってまいりました。今般の移行により、監査等委員である取締役に取締役会の議決権を付与することで、取締役会の監督機能を高め、権限委譲による迅速な意思決定・業務執行に取り組んでまいります。

株式会社IBJとの業務提携による「事業承継に向けた婚活支援」の取り組み

少子高齢化や晩婚・非婚化が進み、後継者や後継者の結婚相手探しが中小企業における事業承継の課題となるなか、2019年8月、じもとグループ両行は、結婚相手紹介サービスを提供する株式会社ＩＢＪと業務提携し、お取引先企業における婚活を支援する取り組みを開始いたしました。同社が運営する日本結婚相談所連盟に所属する優良相談所の紹介等を通じ、経営者・後継者の婚活をサポートすることで、経営課題の解決に貢献してまいります。

提携先セミナー

じもとホールディングス連結業績

（単位：百万円、％）

	2019年9月期	前年同期比	増減率	2018年9月期
連結経常収益	19,670	△1,728	△8.0	21,398
経常利益	948	△811	△46.1	1,760
親会社株主に帰属する中間純利益	711	△530	△42.7	1,242

2019年9月期の連結業績は、連結経常収益は196億70百万円、経常利益は9億48百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は7億11百万円となりました。

きらやか銀行・仙台銀行（単体）の2行合算

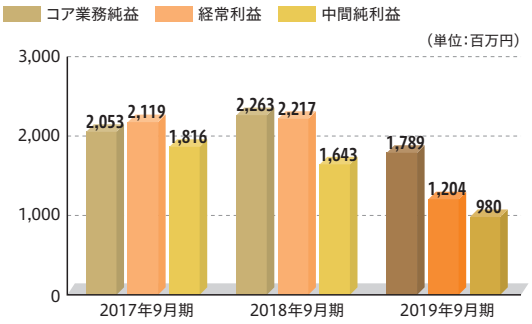
（単位：百万円、％）

	2019年9月期	前年同期比	増減率	2018年9月期
経常収益	17,334	△1,746	△9.1	19,080
業務粗利益	13,849	△1,242	△8.2	15,091
経費（除く臨時処理分）	12,028	△641	△5.0	12,670
コア業務純益	1,789	△474	△20.9	2,263
除く投資信託解約損益	1,178	△221	△15.8	1,399
経常利益	1,204	△1,012	△45.6	2,217
中間純利益	980	△662	△40.3	1,643
貸出金	1,770,582	45,849	2.6	1,724,732
預金等（譲渡性預金を含む）	2,315,948	△20,226	△0.8	2,336,174
有価証券	456,147	△84,173	△15.5	540,320

2行合算の経常収益は、前年同期比17億46百万円減少の173億34百万円となりました。

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、経費が減少したものの、資金利益が減少したことなどから、前年同期比4億74百万円減少の17億89百万円となりました。

経常利益は、前年同期比10億12百万円減少の12億4百万円、中間純利益は、前年同期比6億62百万円減少の9億80百万円となりました。



福利厚生サービス「ふっくりパッケージ」

2019年1月より、お取引先企業の従業員さま向け福利厚生サービス「ふっくりパッケージ」の提供を開始し、今夏よりサービス内容を拡充いたしました。

これは、人材の確保・定着を目指す地元企業のお手伝いをしたいという“私たちの想い”を形にしたサービスで、企業の福利厚生をサポートする内容となっています。

例えば、県内各地や仙台市の協賛店舗で割引などの特典が利用できる「ふっくりパスポート」の贈呈や、企業の従業員様とそのご家族を、当行のイベント企画へご招待する取り組みを行っており、大変好評を得ております。

「特別優待サービス」ふっくりパスポート

© 2012, 2019 SANRIO CO., LTD. APPROVAL No. G602982

“私たちの想い”

本業支援を通して

地元の「中小企業」と「そこに働いている従業員の皆さま」から

喜んでいただき地域と共に活きること。

「特別体験サービス」羽黒古道トレッキング

キャッシュレスの本業支援

●アプラスとの「QRコード決済サービス」に関する業務提携

2019年8月、お取引先企業のQRコード決済の導入を支援するため、新生銀行グループの株式会社アプラスと「QRコード決済サービス」の紹介に関する業務提携契約を締結いたしました。

本提携により、お取引先企業は、当行グループのきらやかカード株式会社が提供するクレジットカードや電子マネー等のキャッシュレス決済手段に加え、複数のQRコード決済サービスがご利用可能となります。

ご利用可能なQRコード決済サービス

国内決済サービス
LINE Pay ・ PayPay ・ d払い

海外決済サービス
Alipay ・ WeChat Pay

●「メルペイ」への電子マネーチャージサービスの開始

2019年8月、株式会社メルペイが提供する電子マネー「メルペイ」へ、当行預金口座からチャージできるサービスを開始いたしました。当行では、他にも「LINE Pay」や「楽天Edy」への電子マネーチャージサービスを行っております。今後も順次、各種電子マネーへの対応を進めてまいります。

きらぼし銀行との連携事業 ～上山市への企業誘致～

2018年6月に当行と上山市が締結した「地方創生の連携に関する協定」に基づき、「かみのやま温泉インター工業団地」にきらぼし銀行取引先の企業を紹介し、土地売買予約が締結されました。本件は、かみのやま温泉インター工業団地においても第１号案件となりました。

当グループの強みである関東圏との繋がりを活かし、今後も地域経済の発展、地方創生に貢献してまいります。

土地売買予約契約書締結式

中小企業の働き方改革セミナー

当行ときらやかコンサルティング&パートナーズは、お取引先企業の課題解決支援の一環として、「中小企業の働き方改革セミナー」を開催いたしました。

本セミナーでは、講師であるいがらし特定社会保険労務士事務所・五十嵐常太代表より、働き方改革関連法の概要や注意点を中心とする、働き方改革にまつわる組織改革のための基礎知識習得に向けた講義が行われました。

中小企業の働き方改革セミナー

硬式野球部、都市対抗野球大会本戦へ３回目の出場

当行硬式野球部は、第90回都市対抗野球大会において、東北第二代表として２年振り３回目となる本戦出場を果たしました。東京ドームには約8,000人が駆けつけ、スタンドを“きらやかレッド”に染めていただきました。

結果は、残念ながら１回戦敗退となりましたが、今回の経験を糧に、チームは今後も成長してまいります。これからも、当行および硬式野球部を宜しくお願いいたします。

第90回都市対抗野球大会（東京ドーム）

丸森町へ旧店舗を寄贈 ～地方創生への取り組み～

当行は、2019年7月、地域の持続的発展と地方創生の実現に資することを目的として、丸森町と「地方創生に関する包括連携協定」を締結し、活動の一環として同町へ旧丸森支店店舗を寄贈いたしました。

寄贈した店舗は、様々な要因により学校生活に困難を抱えるようになった子どもたちの自立支援等の取り組みを行う「子どもの心のケアハウス」として活用される予定です。

当行はこれからも、様々な活動を通じて地域社会への貢献に努めてまいります。

締結式

「人で勝負する銀行」を目指して

●「みやぎ働き方改革宣言企業」認定

当行は、2019年8月、宮城県より「みやぎ働き方改革宣言企業」として認定されました。

本宣言において、当行は、時間外労働の縮減や年次有給休暇の取得促進のほか、職員が働きやすい魅力ある職場づくりの実践に取り組んでいくことを目標として宣言しております。

当行は、働き甲斐があって、働きやすい企業づくりを実践することで、「人で勝負する銀行」を目指してまいります。

宣言書

●チャレンジ・ダイバーシティ研修を実施

当行では、2019年度上期より、若手職員の育成を目的とした企業訪問研修「チャレンジ・ダイバーシティ」を実施しております。

この研修は、参加職員自身が、日本全国から訪問企業を選定し行動計画の作成までを行う「自立型人材育成」研修であり、職員の自主性と積極性を高め、実践的な渉外力の向上を図ることを目指しております。

当行は、「人で勝負する銀行」の発展のため、人材育成に向けた様々な取り組みを実施してまいります。

研修報告会の様子

クラウド型本業支援プラットフォーム「Sendai Big Advance」サービス提供開始

当行では、2019年11月より、全国金融機関が連携してお取引先を支援するクラウド型本業支援プラットフォーム「Sendai Big Advance」のサービス提供を開始いたしました。

「Sendai Big Advance」にご加入いただくと、経営に役立つ様々なサービスがご利用いただけます。登録している2,000社を超える中小企業や300社を超える大手企業とのビジネスマッチングや、大手パートナー企業とのコラボレーション企画、情報・メディア機能、従業員さま向けの福利厚生サービス、自社ホームページの作成機能、そして会員企業さまと銀行本部・支店がつながるチャット機能といったサービスを通じて、お取引先のさらなる事業拡大や効率化をサポートいたします。

当行は、引き続き、お客さまの経営課題解決に向けた本業支援に積極的に取り組んでまいります。

当行ホームページ内に Sendai Big Advance 紹介ページを開設しました

PC
〈仙台銀行ホームページURL〉
https://www.sendaibank.co.jp/
※トップページバナーより紹介ページへアクセスいただけます。
スマートフォン

個人ローン受付業務に RPA を導入

当行は、個人ローン受付業務にRPA（※）業務自動化システム「ナイス・アドバンストプロセスオートメーション」を導入、本格稼働を開始いたしました。

従来手作業で行っていた受付業務を自動化することで、年間2,521時間の削減効果が見込まれるほか、事前審査結果通知のスピードアップなど、お客さまサービスの向上を図ることも可能となります。

当行は、今後も生産性向上ならびに業務効率化に取り組み、創出した時間や人員を有効活用して、更なるサービス向上に努めてまいります。

（※）RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）とは、パソコンで行う定型作業をロボットにより自動化することです。

わたしたちのじもと紹介

じもとの「おすすめ情報」を
わたしたちが紹介いたします。

余目支店のある街　山形県東田川郡庄内町

庄内町は、庄内平野の中央部から、出羽三山の一つである月山まで続いており、北西から南東にかけて細長い形をしています。月山や最上川などの大自然の恵みを受けて育つおいしいお米の産地であり、良食味米として有名なコシヒカリやつや姫などのルーツである品種「亀ノ尾」の発祥地でもあります。

また、町の東に位置する最上峡から平野部にかけて吹き出す強風を活かした風力発電が盛んです。

稲刈り時期、黄金色に輝く広大な庄内平野の田園の中に、町のシンボルとして誇らしげに立つ風車群は壮観です。

余目支店

風車

きらやか銀行 余目支店　鈴木 未来

お取引先企業の従業員さまへ個別相談会等を開催し、従業員の皆さま一人ひとりのお悩みに合った資産形成サービスやローンなどのご案内を行っています。お困りの際に一番に相談したいと思っていただけるよう、お客さまに寄り添い、信頼される銀行員を目指してまいります。

山辺支店のある街　山形県東村山郡山辺町

山辺町は山形県の内陸部にある町で、町の中部から南部には大小の湖沼が点在しており豊かな自然が広がっています。世界に誇れる「繊維の町」として古くからニット業が盛んで、ニット製品をはじめとする繊維製品の品質と芸術性が高く評価されています。町のイベントとしては、8月の「盆踊り大会」や11月の「やまのべ・まるごと・フェスティバル」など町内各地で地域が一体となるイベントが開催され、当行も積極的に参加しています。

今後とも地域の皆さまとの交流を通じ、山辺町の活性化のお手伝いをしてまいります。

山辺支店

「山辺町盆踊り大会」への参加

藤田選手

きらやか銀行 山辺支店　藤田 遼

本業支援課で法人のお客さまを担当しております。お話をよくお聴きし、お客さまに合ったご提案を行うよう努めております。また硬式野球部に所属し、今期より主将を務めております。お客さまに喜ばれる本業支援をしっかりと実践するとともに、野球でも、全国大会で勝てるよう励んでまいります。これからも応援よろしくお願いいたします。

＼　きっと気になる情報が見つかりますよ。　／

船岡支店のある街　宮城県柴田郡柴田町

船岡支店は、「花のまち柴田町」の中心で営業しております。

柴田町内には桜の名所が2カ所あります。それぞれ「船岡城址公園」には約1,300本、白石川堤の「一目千本桜」には全長約8kmにわたって約1,200本の桜が咲いており、「日本さくら名所100選」に認定された名所です。

桜のほかにも紫陽花、曼珠沙華、大菊など四季折々の花を楽しむことができ、たくさんの観光客で賑わいます。

ぜひ皆さまにお越しいただき、「花のまち柴田町」を体感していただきたいと思います。

船岡支店

一目千本桜

仙台銀行 船岡支店　加藤 浩人

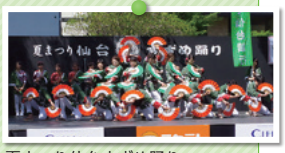
預かり資産業務を担当しております。お客さまの大切な資産について誠意を持って一人ひとりに合った提案をさせていただくことと、お客さまと楽しく会話することを心掛けています。お客さまから信頼される銀行員となれるように努めてまいります。

仙台東口支店のある街　仙台市宮城野区榴岡

仙台東口支店のある仙台駅東口エリアは、オフィスビルやマンション群の中に歴史的な神社仏閣があるなど、仙台の様々な顔を合わせ持つエリアです。仙台駅東口から一直線に伸びる宮城野通りには、コンサートやイベント会場に使われる「仙台サンプラザホール」、市民の憩いの場である「榴岡公園」、さらに東北楽天ゴールデンイーグルスの本拠地「楽天生命パーク宮城」など、多くのお出かけスポットがあります。

また、例年7月第4土曜・日曜日に開催される「夏まつり仙台すずめ踊り」は、毎年多くの人出で賑わい、当行職員も踊り手として参加しております。皆さまもぜひ、足を運んでみてください。

仙台東口支店



夏まつり仙台すずめ踊り

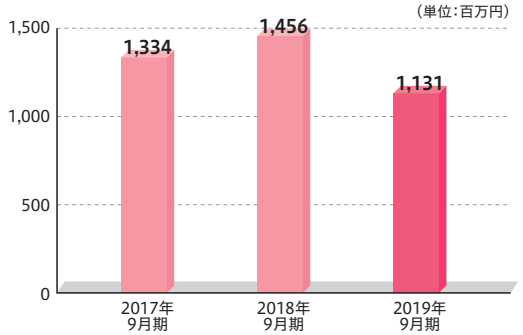
仙台銀行 仙台東口支店　中里 茉央

窓口・出納業務を担当しております。いつも笑顔でお客さまと会話することを心がけ、お客さまのご要望に素早く正確に対応できるよう努めております。

業績ハイライト（単体）

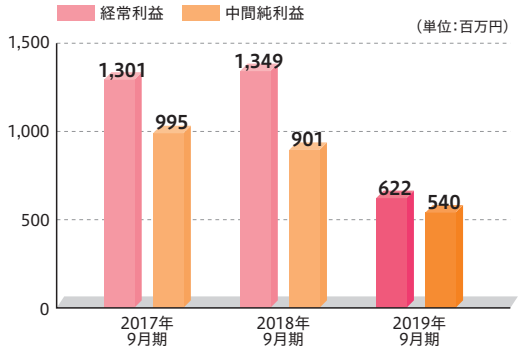
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、経費が前年同期比で5億27百万円減少したものの、資金利益が減少したことなどから、前年同期比3億25百万円減少の11億31百万円となりました。



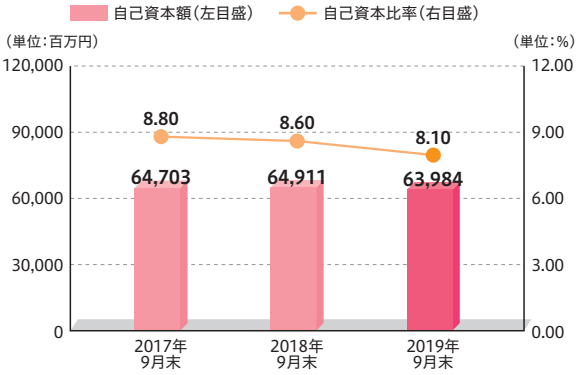
経常利益・中間純利益の状況

経常利益は、前年同期比7億27百万円減少の6億22百万円、中間純利益は、前年同期比3億61百万円減少の5億40百万円となりました。



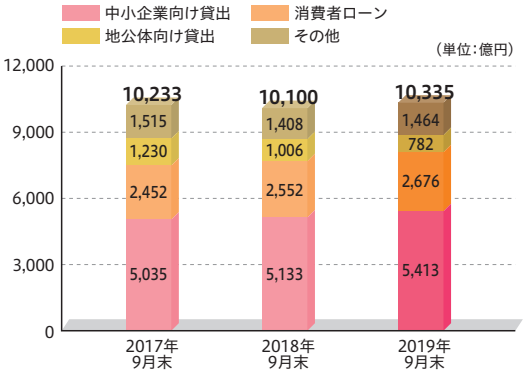
自己資本比率の状況

単体の自己資本比率は、中小企業向け貸出に注力したことに伴いリスクアセット（分母）が増加したことなどから、2018年9月末比0.50ポイント低下の8.10%となりました。



貸出金の状況

貸出金残高は、地方公共団体向け貸出が減少したものの、中小企業向け貸出や消費者ローンが増加したことから、2018年9月末比235億25百万円増加の1兆335億93百万円となり、きらやか銀行として過去最高の貸出金残高となりました。

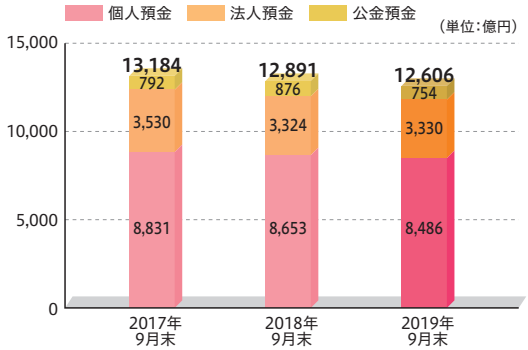


用語解説

■ **コア業務純益**　「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支のことを指します。

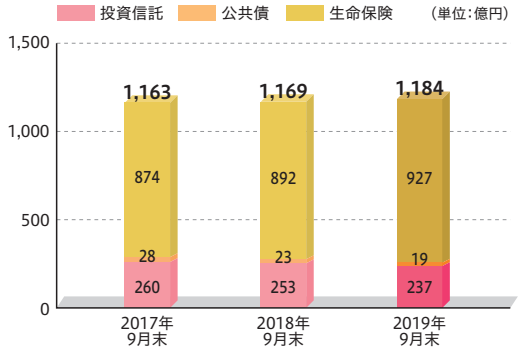
預金（譲渡性預金を含む）の状況

預金残高は、法人預金が増加したものの、個人預金が減少したことから、2018年9月末比284億95百万円減少の1兆2,606億72百万円となりました。



預かり資産の状況

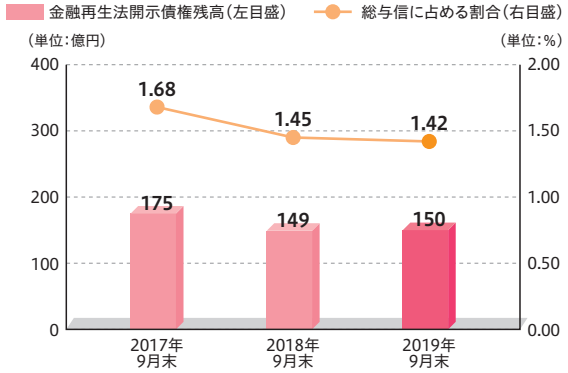
預かり資産残高は、お客さまの保険運用ニーズが依然として高く、生命保険残高が増加したことなどから、2018年9月末比15億6百万円増加の1,184億54百万円となりました。



金融再生法開示債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の残高は、取引先企業の財務改善支援を組織的に実施した結果、2018年9月末比41百万円増加の150億34百万円となりました。総与信額に占める割合は、2018年9月末比0.03ポイント低下の1.42%となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



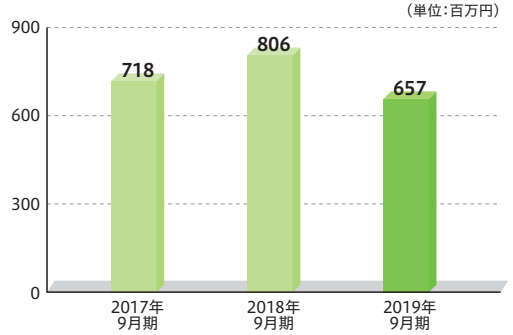
■経常利益　「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。
■中間純利益　「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

業績ハイライト（単体）

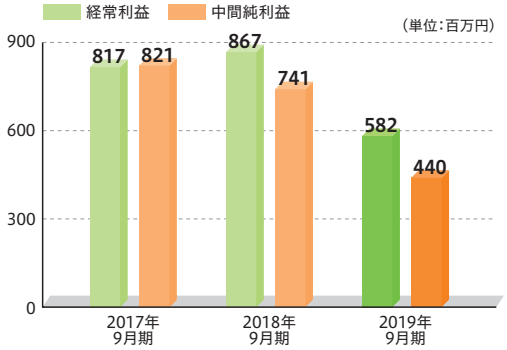
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、経費が減少したものの、有価証券利息配当金の減少等により資金利益が減少したことに加え、生命保険販売手数料の減少等により役務取引等利益が減少したことなどから、前年同期比1億48百万円減少の6億57百万円となりました。



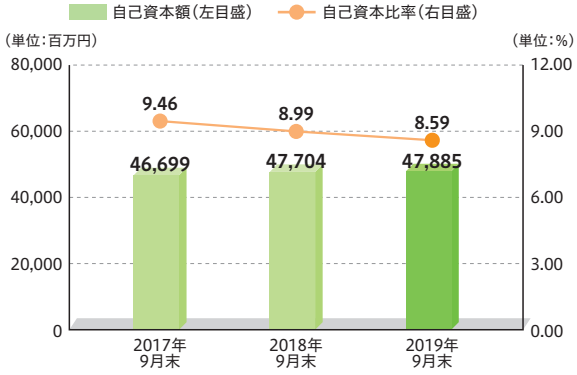
経常利益・中間純利益の状況

経常利益は、前年同期比2億85百万円減少の5億82百万円、中間純利益は、前年同期比3億1百万円減少の4億40百万円となりました。



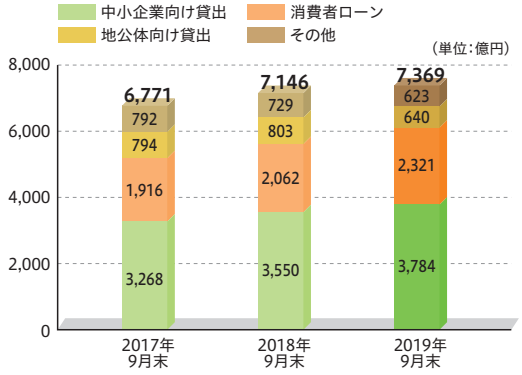
自己資本比率の状況

自己資本比率は、中間純利益を4億40百万円計上したことで自己資本額（分子）が増加した一方で、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット（分母）が増加したことなどから、2018年9月末比0.40ポイント低下の8.59%となりました。



貸出金の状況

貸出金残高は、本業支援を通じたお客さまの資金需要への迅速かつ積極的な対応により、中小企業向け貸出や住宅ローンが増加したことなどから、2018年9月末比223億24百万円増加の7,369億88百万円となり、仙台銀行として過去最高の貸出金残高となりました。

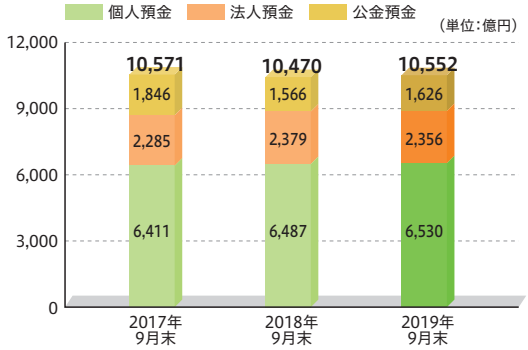


用語解説

■ **コア業務純益**　「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支のことを指します。

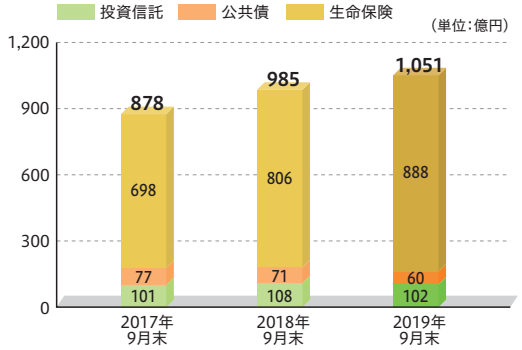
預金（譲渡性預金を含む）の状況

預金残高は、法人預金が減少したものの、個人預金と公金預金の増加により、2018年9月末比82億69百万円増加の1兆552億76百万円となりました。



預かり資産の状況

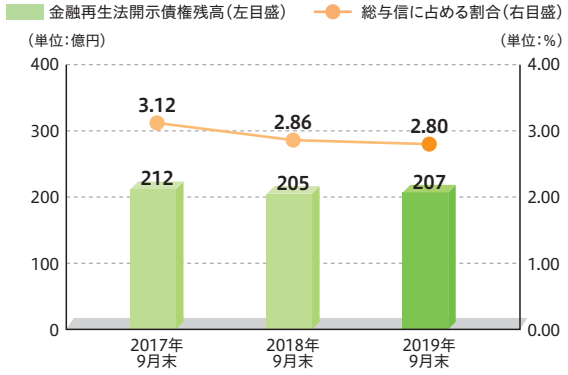
預かり資産残高は、お客さまの資産運用ニーズへの対応により、生命保険残高が増加したことなどから、2018年9月末比65億59百万円増加の1,051億42百万円となりました。



金融再生法開示債権の状況

金融再生法開示債権の残高は、2018年9月末比2億12百万円増加の207億43百万円となりました。総与信額に占める割合は、2018年9月末比0.06ポイント低下の2.80%となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



■経常利益　「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。
■中間純利益　「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

株主の皆様へ

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年といたします。
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
配当金受領株主確定日	3月31日および中間配当を行うときは9月30日。
基準日	定時株主総会の議決権の基準日については、3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
公告方法	電子公告といたします。 **【公告掲載ホームページアドレス】 https://www.jimoto-hd.co.jp/** ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞、仙台市において発行する河北新報および山形市において発行する山形新聞に掲載して行います。

株式事務取扱場所

株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号　みずほ信託銀行 株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号　みずほ信託銀行 株式会社　本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507　東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行　証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル　**0120-288-324**（土・日・祝日を除く 9:00 ～ 17:00）
各種手続お取扱店（住所変更、株主配当金受取り方法の変更等）		みずほ証券　本店、全国各支店 プラネットブース（みずほ銀行内の店舗）でも取り扱いいたします。 みずほ信託銀行　本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行（※）およびみずほ銀行の本店および全国各支店（みずほ証券では取次のみとなります） （※）トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。	
	〈未払配当金のお支払に関するご注意〉 支払開始の日より満5年を経過してもお受け取りにならないときは、お支払できなくなりますので、お早目にお受け取りください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

お問合せ先

みずほ信託銀行 株式会社　0120-288-324

上場株式配当等の支払に関する通知書について

租税特別措置法の改正により、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した支払通知書を通知することとなっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、2019年分の確定申告の添付資料としてご使用ください。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、2019年分の確定申告の添付書類としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

株式会社 じもとホールディングス
〒980-0811 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
TEL.022-722-0011（代表）
https://www.jimoto-hd.co.jp/

株式会社 きらやか銀行
〒990-8611 山形市旅篭町三丁目2番3号
TEL.023-631-0001（代表）
https://www.kirayaka.co.jp/

株式会社 仙台銀行
〒980-8656 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
TEL.022-225-8241（代表）
https://www.sendaibank.co.jp/

2019年11月発行